

研修者研究報告

AETとのチーム・ティーチングを通して、 進んで英語を話そうとする意欲を育てる指導

檜枝岐村立檜枝岐中学校教頭 飯塚 義雄

1. 研究の趣旨

(1) 研究の動機とねらい

国際化の進展にともない、英語を話す能力の育成が一層重視されるようになった。英語指導助手（AET）導入のねらいもここにある。

本校にも、AETが毎月訪れ、チーム・ティーチングを実施している。チーム・ティーチングの時間は、主として英語を「聞く力」と「話す力」の向上をめざして指導してきたが、「話す力」に関しては、まだまだ期待している程の向上は見られない。その原因としては、意識調査の結果からもわかる通り、英語を話すことに苦手意識を持っており、「間違うと恥ずかしい」等の理由で、積極的に英語を話す努力をしていないからだと思われる。また、教師側の指導の仕方にもその原因があると考えられる。

しかし、意識調査の結果が示す通り、生徒にとって、チーム・ティーチングは、ふだんの授業に比べれば、楽しく積極的に取り組める時間となっているので、チーム・ティーチングを改善し、英語を話すことに積極的に取り組めるような手だてを講じることによって、「話す力」を向上させることができるとと思われる。

以上のことから、チーム・ティーチ

ングを通して、進んで英語を話そうとする意欲を育てる授業実践を試みようとする本主題を設定した。

<英語学習に関する意識調査結果> 2年生(31名) 平成2年6月実施

1. 英語を学習した結果、どうなりたいですか。 ア 人とべらべら話せるようになりたい イ 英語の本や新聞などを読めるようになりたい ウ 英語をすらすら話せるようになりたい	ア 78%	イ 12%	ウ 10%		
2. 英語の学習で苦手なこと(難しいと思うこと)は何ですか。 ア 英語を聞くこと イ 英語を話すこと ウ 英語を読むこと エ 英語を書くこと	ア 22%	イ 42%	ウ 33%	エ 3%	
3. Mr. Mixerが来るようになってから、どの力が一番ついたと思いますか。 ア 英語を聞く力 イ 英語を話す力 ウ 英語を読む力 エ 英語を書く力 オ わからない	ア 55%	イ 29%	ウ 13%	エ 3%	オ 3%
4. Mr. Mixerと二人でやる授業で、英語を話すことに積極的に取り組んでいますか。 ア 積極的に取り組んでいる イ 多少積極的 ウ 積極的でない	ア 13%	イ 39%	ウ 48%		
5. (4)の(イ)を(ウ)に英語を話すことに消極的な理由は何ですか。 ア 話したい気持ちがない イ 話したい相手と行かない ウ その他	ア 28%	イ 65%	ウ 7%		
6. Mr. Mixerと二人でやる授業とふだんの授業では、どちらが楽しいですか。 ア 二人でやる授業の方が楽しい イ どちらか ウ ふだんの授業の方が楽しい	ア 68%	イ 13%	ウ 19%		
7. Mr. Mixerと二人でやる授業とふだんの授業では、英語学習への取り組みはどうか。 ア ふだんの授業より積極的に取り組む イ どちらか ウ ふだんの授業の方が積極的に取り組む	ア 59%	イ 23%	ウ 18%		

(2) 問題点

- ① 英語を話せるようになりたいと思っているのに、話すことにちゅうちょしている。(生徒側)
- ② チーム・ティーチングの実践と研究が不足しており、話そうとする意欲を十分に引き出せない。(教師側)

(3) 原因

<生徒側>

- ① 誤りを恐れるあまり、英語を話すことに消極的になっている。
- ② 話すのに必要な語句や表現が定着していない。